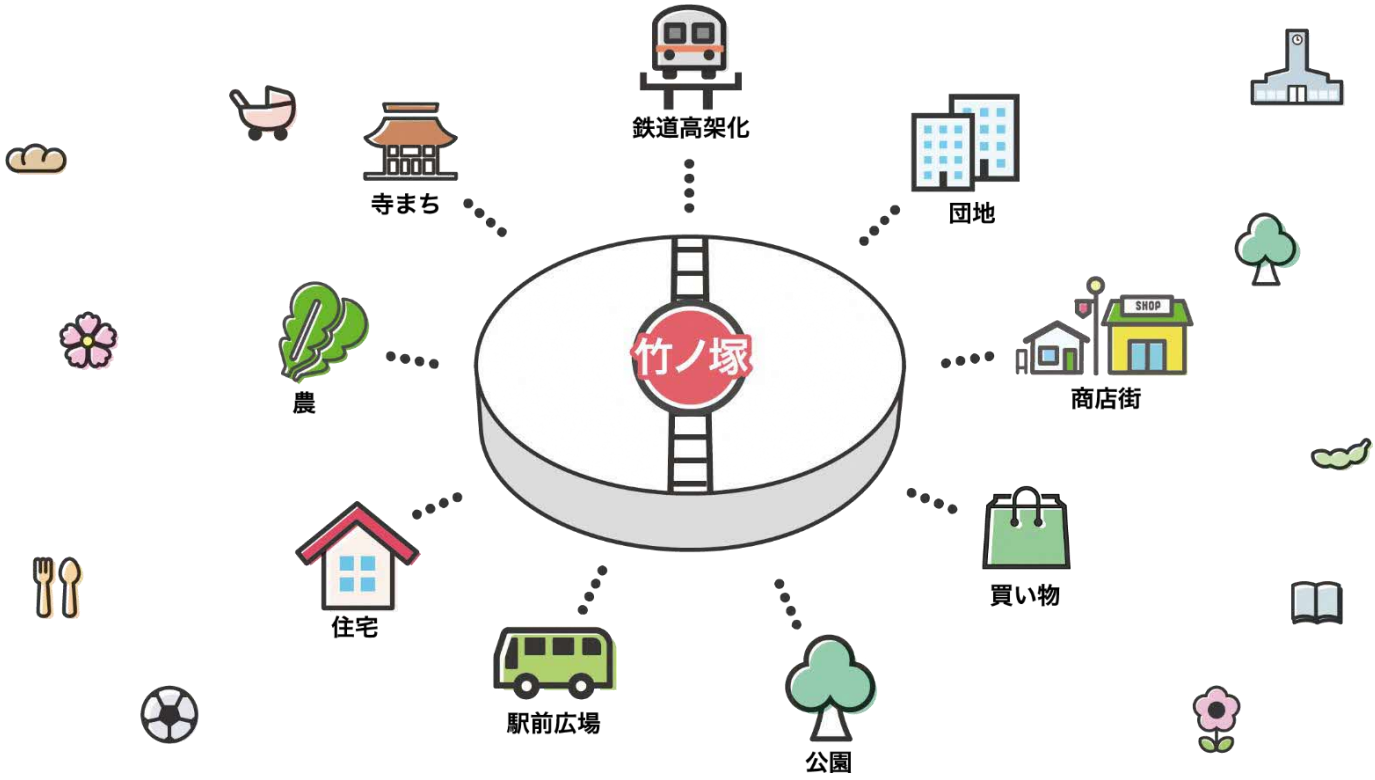
Area Design
Promotion Headquarters
まち×デザイン＝未来

— 竹の塚エリアデザイン —

竹の塚のまちづくり

まずは 体感治安の改善!!

体感治安の改善に向けた取組み方針



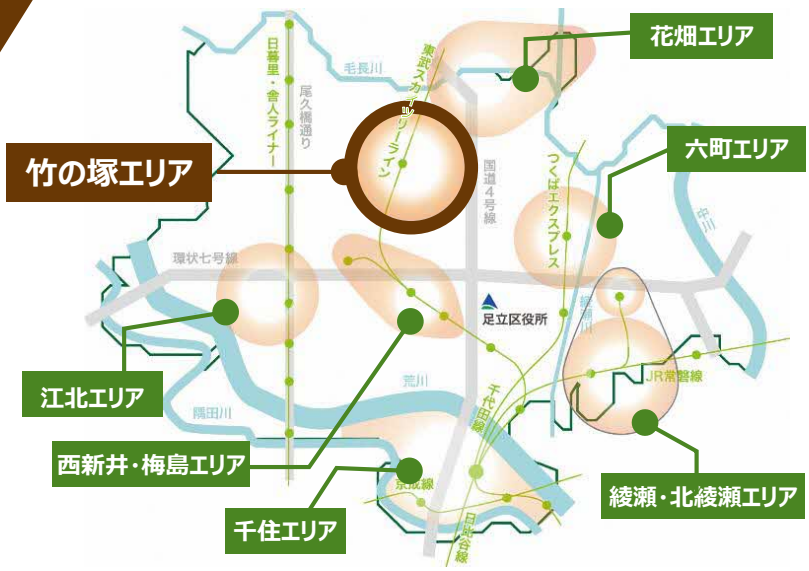
まち×デザイン＝未来

エリアデザイン計画とは

魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで、区のイメージアップを図る足立区独自のまちづくりの手法です。

現在は、「綾瀬・北綾瀬」「花畑」「江北」「六町」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」の７つのエリアが対象となっています。

竹の塚エリアは、鉄道高架化事業による東西一体のまちづくりを進めます。



竹の塚エリア意識調査結果（令和３年６月実施）

体感治安の評価が低い!!

令和2年の足立区全体の刑法犯認知件数は3,693件と、戦後最少となった令和元年から更に1,071件の減、マイナス22.5%と目覚しい改善を見せています。

しかしながら、竹の塚エリア意識調査※１では、 **治安を低く評価した人が約６８%**と、竹の塚では依然として体感治安が改善されていない厳しい現実が明らかとなりました。

ポイント

特に治安の評価が低いのは

- **20～40歳代の若い人**
- **居住年数が短い人**



まちの評価 ※２

評価が高い	評価が低い
1位 **買い物の利便性**（日用品） 83.2%	1位 **治安** 68.6%
2位 みどり・公園の充実度 78.3%	2位 地震や風水害への安全性 48.9%
3位 病院等の地域医療 75.4%	3位 地域活動への参加しやすさ 39.9%

※１　竹の塚エリアデザイン計画検討のために、令和３年６月１日～６月３０日に実施したまちの評価などに関する意識調査。回答数982件。
※２　意識調査の回答で、「そう思う」「どちらかというとそう思う」を「評価が高い」、「そう思わない」「どちらかというとそう思わない」を「評価が低い」とする。

意識調査結果の分析

事実１

竹の塚エリアの刑法犯認知件数は、10年前から約６割減少するも、まだ多い。

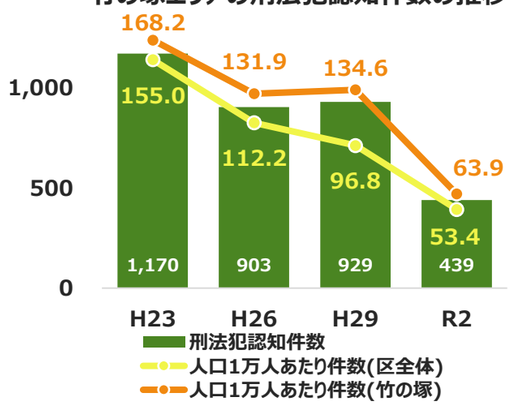
- 区全体と比較して、減少割合は同程度であるものの、人口１万人あたりの犯罪認知件数は区全体を上回っている。
- 区内各エリアと刑法犯認知件数を比較すると、千住エリアに次いで、竹の塚エリアは２番目に多い。

事実２

竹の塚エリアの治安に対する評価(体感治安)では、約68%が低評価。

- 治安の評価が低い回答者の属性を見ると、年代では**20～40歳代が過半数を超え**、**居住年数では５年未満が多い**。
- 逆に、年代が高く、居住年数が長くなると、治安を高く評価する傾向がある。

竹の塚エリアの刑法犯認知件数の推移



結論

- ✓ **竹の塚エリアの刑法犯認知件数を減少させる取組みを進める必要がある**
- ✓ **若い人や居住年数が短い人の鋭敏な感覚を防犯活動に取り込み、改善する必要がある**

体感治安の改善に向けた取組み方針

まずは体感治安の改善!!

体感治安の改善は、まちへの誇りにつながり、それが地域活動や防犯活動への参加意欲を呼び起こすという好循環をつくります。そのため、**今後本格化する東西一体のまちづくり**に向けて、治安の改善は何よりも優先して取り組むべき課題です。

よって、体感治安が低い問題の本質を捉え、その改善に向けて具体的な対策を進めていきます。

ポイント

ご意見が多かった３つをターゲット

不安を感じる **防犯**　道路や公園 **ごみ** 多い　駐輪や運転マナー **自転車** 悪い



1　期間

令和４年度 から 令和６年度 まで （３年程度）

2　取組みの方向性

方向性1　ビューティフルウィンドウズ運動の強化!!

竹の塚エリアの体感治安を大きく下げている要因に対して、個別具体的な取組みを進めます。

（１）**防犯**　…　青色パトカーの巡回、防犯カメラ設置　など
（２）**ごみ**　…　道路や公園のごみの清掃　など
（３）**自転車**　…　路上駐輪対策、自転車運転マナー改善　など

方向性2　プラスイメージの創出!!

若い人や居住年数の短い人が地域と交流し、緩やかなつながりをつくりながら、地域に根差した活動に参加できる場づくりを進めます。

（１）**道路・公園等の公共空間の活用**
（２）**高架下空間の活用**

3　効果検証

小さな行動から始め、**短い周期のＰＤＣＡサイクル**で取り組む。

イベントなどにあわせて実施

ポイント1　**「体感治安」のモニタリング**　⇒ 体感治安に関する街頭調査など
ポイント2　**取組み効果を分析・フィードバック**　⇒ 行動観察など現場調査

＼ 竹の塚エリアデザイン ／

鉄道高架化の先へ
東西一体のまちづくりを進めます

令和４年３月、竹の塚のまちから踏切が無くなりました。鉄道高架化事業により、ようやく地域の皆様の安全安心がひとつ確保されました。

まちづくりは次のステージへ。

竹ノ塚駅の東西一体のまちづくりが動き出します。



竹の塚エリアは、竹ノ塚駅周辺の**半径約1km**の範囲です

竹の塚エリアデザイン
つくりながら考える、考えながらつくる

竹の塚エリアでは、**まずは体感治安の改善**に向けた取組みを進め、UR団地のストック再生や駅前広場整備など**まちの動きが見えてきた段階で、エリアデザイン計画を策定**します。

さらに、体感治安の改善に加えて、公園など公共空間の活用、高架下や交通広場の暫定活用において**プラスイメージの創出**にも取り組みます。地域の声をうかがい、**小さな試行を繰り返し**ながら、エリアデザイン計画づくりにつなげます。

令和４年度～６年度

体感治安改善の取り組み方針

早期着手

重要な課題の解決

✓体感治安の改善

✓プラスイメージの創出

約３年間

将来像を描くためのポイント

- ＵＲ団地ストック再生と東口駅前広場整備の連携
- 高架下利用、西口駅前交通広場の暫定利用
- 鉄道高架化後の人の流れ、人口動態の変化、商業店舗の動向などまちの現状把握

エリアデザイン計画

Area Design Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来

足立区 エリアデザイン推進本部

事務局

足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 南館9階

TEL 03-3880-5111（代表） 03-3880-5812（直通）

FAX 03-3880-5610

足立区公式ホームページ

Information エリアデザインについて詳しくは足立区HPをご覧ください

足立区 エリアデザイン 検索

２０２２年３月